

公表

事業所における自己評価結果(児童発達支援)

| 事業所名             |    | 公表日 令和7年6月23日                                                                                                                            |    |     |                                             |                                                          |
|------------------|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|-----|---------------------------------------------|----------------------------------------------------------|
| HIYOKO MUSIC増田教室 |    |                                                                                                                                          |    |     |                                             |                                                          |
|                  |    | チェック項目                                                                                                                                   | はい | いいえ | 工夫している点                                     | 課題や改善すべき点                                                |
| 環境・体制整備          | 1  | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。                                                                                                             | 2  | 2   | ・ステップ台を置き、高さの調整を行っている                       | ・水回りのサイズや高さが未就学児に適していない                                  |
|                  | 2  | 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。                                                                                                          |    | 4   | ・配置人数的には適しているが、子供の様子を見て、より配慮できるような配置を目指している | ・人員不足している。<br>・子どもの状況によっては職員の人数を増やすべき                    |
|                  | 3  | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じバリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。                                                     |    | 4   | ・可能な限りの環境配慮を行っていた                           | ・特性に応じられた空間設定になっていない<br>・バリアフリー化されていない<br>・トイレが狭く、介助しにくい |
|                  | 4  | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。                                                                                    | 4  |     |                                             |                                                          |
|                  | 5  | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。                                                                                               | 2  | 2   | ・個室がないので、活動中、もう一つの部屋をクールダウンの部屋として使用している     | ・個室を設けることが難しい                                            |
| 業務改善             | 6  | 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。                                                                                          | 2  | 2   | ・都度声をかけあったり、少しの時間で話し合いの場を設けている              | ・スタッフ間で意識して話し合うようにしているが、まとまった時間が取れずにいる                   |
|                  | 7  | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。                                                                                     | 2  | 2   | ・把握する機会がなかったため、全体周知を行っていく                   | ・把握する機会が設けられていなかった                                       |
|                  | 8  | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。                                                                                                   | 2  | 2   | ・利用人数を確認しながら、空いている時間に話し合う場を設けていくようにする       | ・会議での意見交換はあったが、決まったことやそれ以外での相談はほぼなかった<br>・機会がなかった        |
|                  | 9  | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。                                                                                                         | 1  | 3   |                                             | ・行っていない                                                  |
|                  | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。                                                                                        | 4  |     |                                             |                                                          |
| 適切な支援            | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。                                                                                                                  | 1  | 3   | ・全体での話し合いをする機会を設けていく                        | ・プログラムの内容が季節外れだったり時期に合わない内容があった                          |
|                  | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。                                                                       |    | 4   | ・児発管からの指導の時間を設けている                          | ・専門性や分析力に欠けていた                                           |
|                  | 13 | 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。                                                         | 2  | 2   | ・作成手順を確認し、個々に合った支援計画の作成を行っていく               | ・子どもの様子を事前に把握できていないまま作成していた時もあった                         |
|                  | 14 | 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。                                                                                                      |    | 4   | ・ケース会議に基づき計画を立てて支援を行っている                    | ・支援のねらいが不明な時期があった<br>・児発管の主観だけで作成していた時期があった              |
|                  | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。                                                      | 4  |     |                                             |                                                          |
|                  | 16 | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 3  | 1   | ・全体で確認し、抜けがないようにしている                        | ・必要な項目の入力ミスがあった                                          |